

平成26年度第2回

中小企業景況調査報告書

平成26年 7月～ 9月期 報告
平成26年10月～12月期 予測

千葉県商工会連合会

中小企業景況調査報告書

平成 26 年7月～9月期

調査要領

1. 調査対象

(1)対象地域

11 商工会地域 千葉市土気商工会、袖ヶ浦市商工会、鎌ヶ谷市商工会、富津市商工会、南房総市朝夷商工会、匝瑳市商工会、いすみ市商工会、印西市商工会、成田市東商工会、多古町商工会、長柄町商工会

(2)対象企業数 165 企業(11 商工会×15 企業)

(3)回答企業数 165 企業

2. 調査対象期間 平成 26 年7月～9月を対象とし、調査期間は平成 26 年 8 月 23 日～9 月 2 日である。

3. 調査方法 商工会の経営指導員による訪問面接調査。

(1)産業別構成

業 種	回答企業数	構成比(%)
製 造 業	28	17.0
建 設 業	27	16.4
小 売 業	45	27.3
サービス業	65	39.4
合 計	165	100.0

(2) 業種別構成

① 建設業

業 種	回答企業数	構成比(%)
総合工事業	16	59.3
職別工事業	8	29.6
設備工事業	3	11.1
合 計	27	100.0

② 製造業

業 種	回答企業数	構成比(%)
食料品製造業	8	28.6
家具・装備品製造業	1	3.6
印刷・同関連業	1	3.6
プラスチック製品製造	3	10.7
窯業・土石製品製造業	1	3.6
金属製品製造業	5	17.9
一般機械器具製造業	4	14.3
精密機械器具製造業	1	3.6
その他の製造業	4	14.3
合 計	28	100.0

③ 小売業

業 種	回答企業数	構成比(%)
各種商品小売業	1	2.2
織物・衣服・身の回り品小売業	6	13.3
飲食料品小売業	17	37.8
自動車・自転車小売業	3	6.7
家具・建具・じゅう器小売業	4	8.9
その他小売業	14	31.1
合 計	45	100.0

④ サービス業

業 種	回答企業数	構成比(%)
一般飲食店	24	36.9
宿泊業	4	6.2
運送業	2	3.1
自動車整備業	10	15.4
洗濯・理美容業	15	23.1
その他のサービス業	10	15.4
合 計	65	100.0

本報告書中の[DI 値]とあるのは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(好転、上昇)企業割合から、減少(悪化、低下)企業割合を差し引いた値を示すものである。

I. 県下中小企業の景況

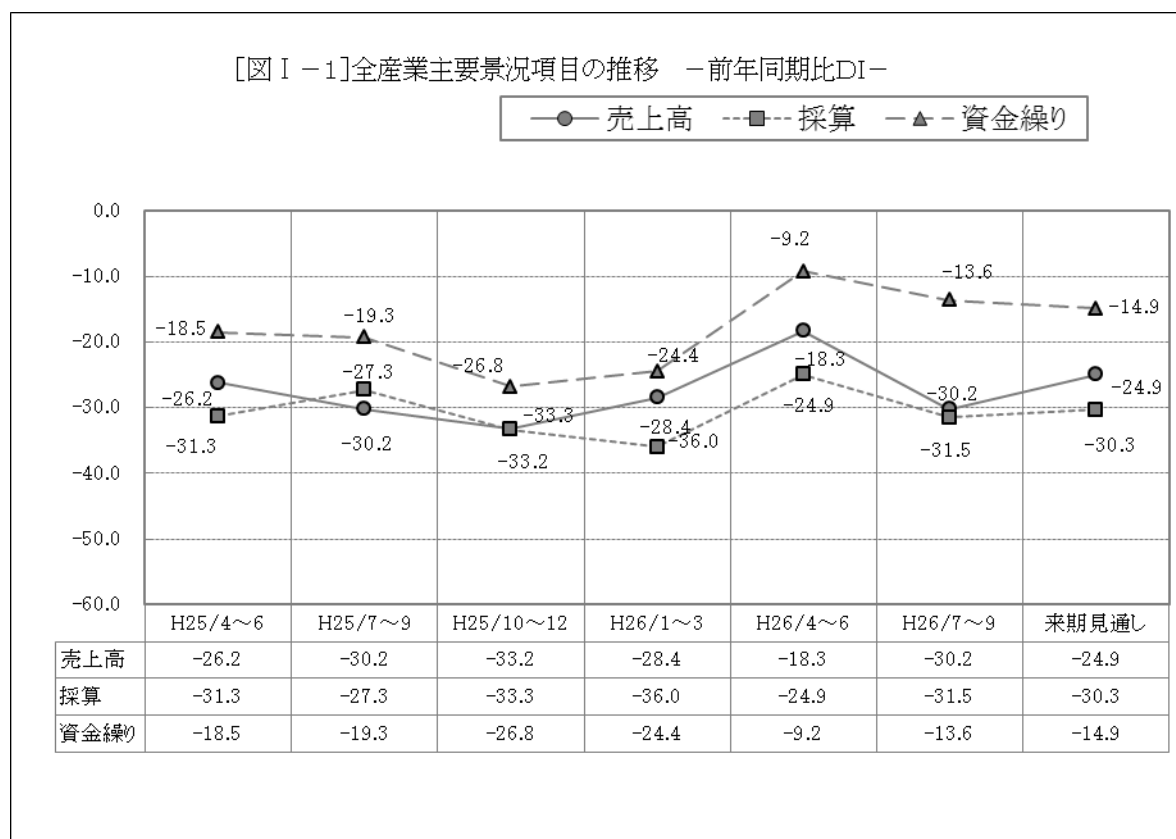
“天候不順も影響し、景況感は悪化“

千葉県商工会地区の平成26年7～9月期中小企業景況調査結果によると、産業全体の景況感は[図I-1]に示したとおり、今期売上高DI値は-30.2、前期（平成26年4～6月期、-18.3）比で11.9ポイント減、同採算DI値は-31.5、前期（-24.9）比で6.6ポイント減、同資金繰りDI値は-13.6、前期（-9.2）比で4.4ポイント減といずれもマイナス幅は拡大、前期の回復基調から一転している。

また、前年同期（平成25年7～9月期）調査と比較してみると、売上高DI値は、前年同期（-30.2）比で増減なし、採算DI値については、前年同期（-27.3）比で4.2ポイント減、マイナス幅が拡大、資金繰りDI値は、前年同期（-19.3）比で5.7ポイント増、マイナス幅が縮小しており、前年同期の景況感に逆戻りしている。

今期は、売上高・売上単価・売上数量・利用客数・新規受注数の減少、原材料費の増加等マイナス要因が多い。天候不順、円安による原材料・燃料価格高騰に加え、賃金上昇が十分でないことから、消費税引き上げとあいまって実質所得が低下し、消費マインドが悪化したと考えられる。














また、来期（平成26年10～12月期）については、天候不順の影響が大きかった小売業、サービス業、建設業については、売上高についてはプラスの見通しを立てているが、製造業については、景気の停滞感、原材料・人件費等の高騰が続くことから、売上高・採算については、マイナスの見通しとなっている。



Ⅱ. 各産業の景況

1. 製造業の景況

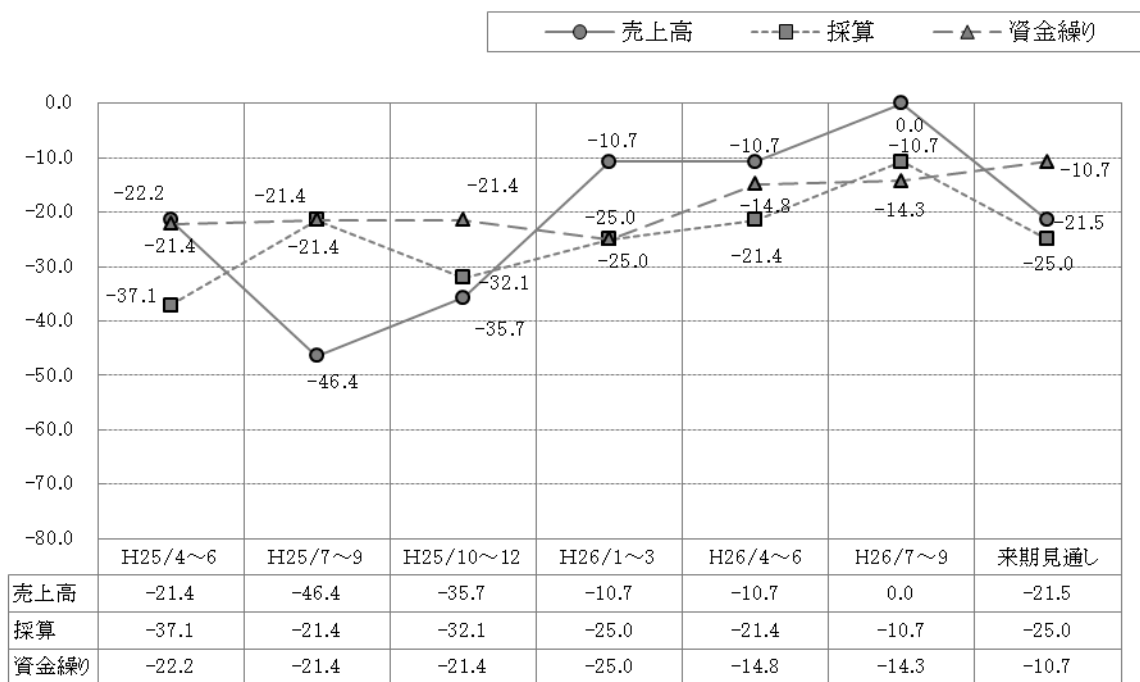
“回復基調は続くも、原材料等高騰への懸念は変わらず”

	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

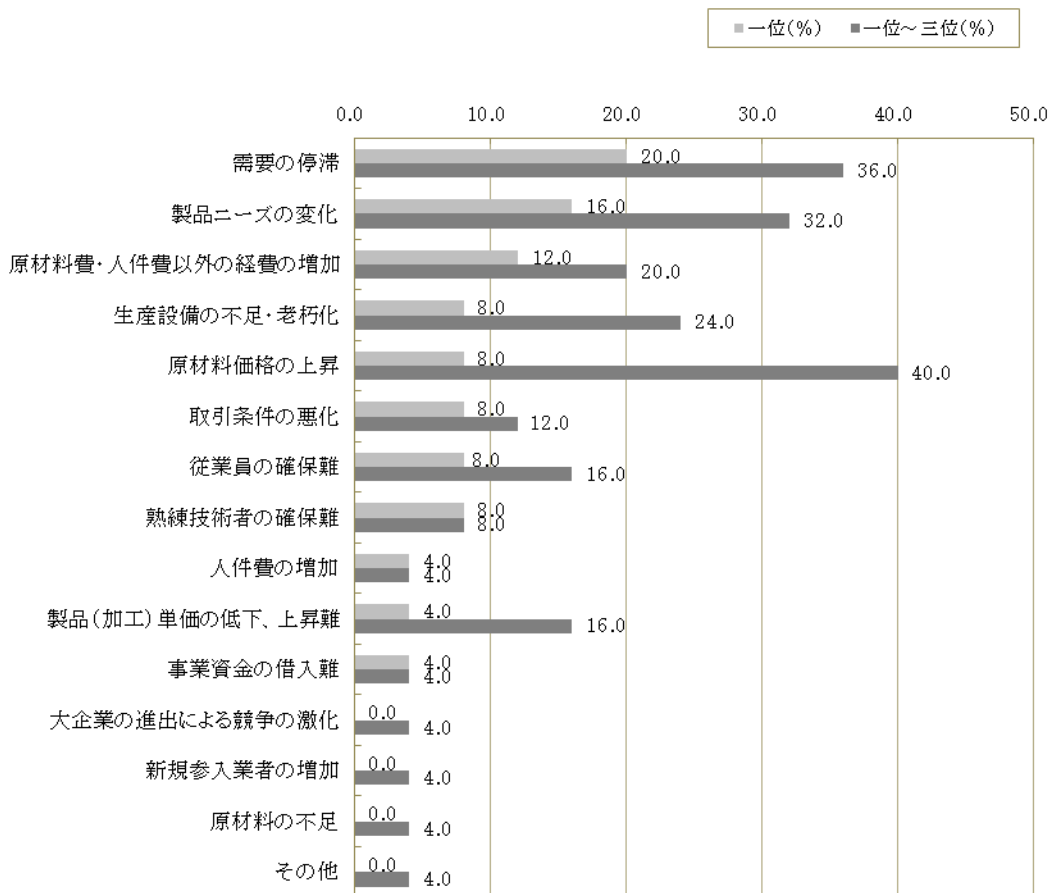
千葉県商工会地区における製造業の景況は、駆け込み需要後の反動も和らぎ、円安と大企業の好況の影響もあり、受注量は引き続き増加し、設備操業度も維持している。今期のDI値については、全ての項目で改善されており、緩やかではあるが、回復基調が続いている。一方、今後の見通しについては、内需型の企業が大半を占めているため、円安による原材料・燃料、人件費高騰等コスト上昇を不安視する声が多く、引合い数が減少していることから、資金繰り以外の項目について、悪化すると予測している。

今期は新規設備投資も増加しており、7社が実施。内訳は、生産設備3社、工場建物が2社、付帯施設、OA機器が各1社となっている。また、来期計画では生産設備が2社、工場建物が1社予定されている。

[図Ⅱ-1] 製造業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI -
















[図Ⅱ-2] 製造業 経営上の問題点の状況



2. 建設業の景況

“受注額が減少に、資材高騰・人手不足も重なり業況は悪化”

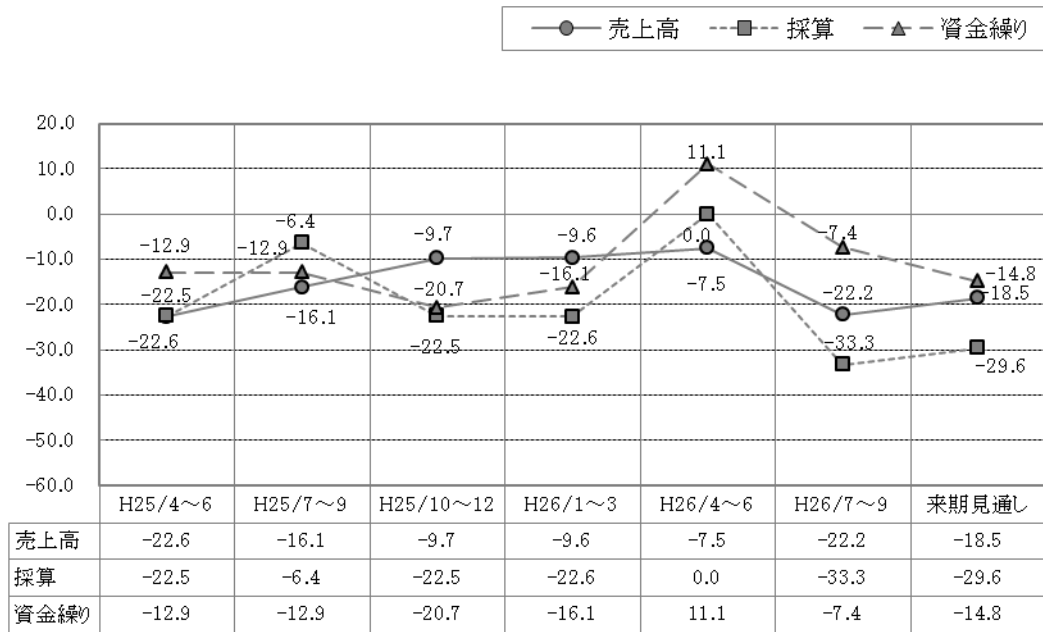
	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

千葉県商工会地区における建設業の景況は、新規契約工事の減少が目立ち、受注総額は減少。人材不足や資材高騰、単価の上昇難に加え、新規参入や大手参入もあり、競争は激化。結果として、全ての項目でDI値は大幅に悪化している。

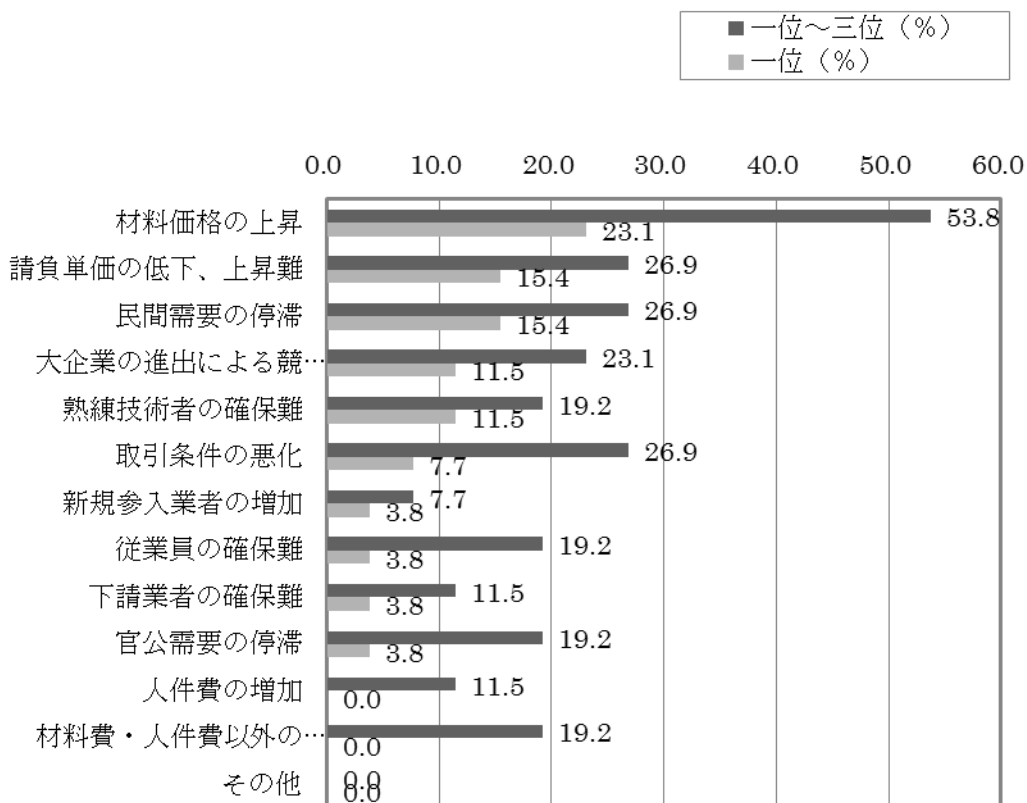
来期についても、引合い数、未消化工事高が減少していることから、大幅な回復は見込めず、引き続き厳しい状況が続く見通しである。競争激化・人手不足・単価の上昇難・資材高騰等が経営上の大きな問題点となっており、採算面・資金繰り面については、特に注意が必要である。

新規設備投資については、4社が実施しており、土地、建設機械、車両・運搬具、付帯施設を導入。来期計画は2社で、建物、付帯施設の導入を予定している。

[図Ⅱ-3]建設業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI-
















「図表Ⅱ-4」建設業 経営上の問題点の状況



3. 小売業の景況

“天候不順の影響もあり、消費の停滞感が続く”

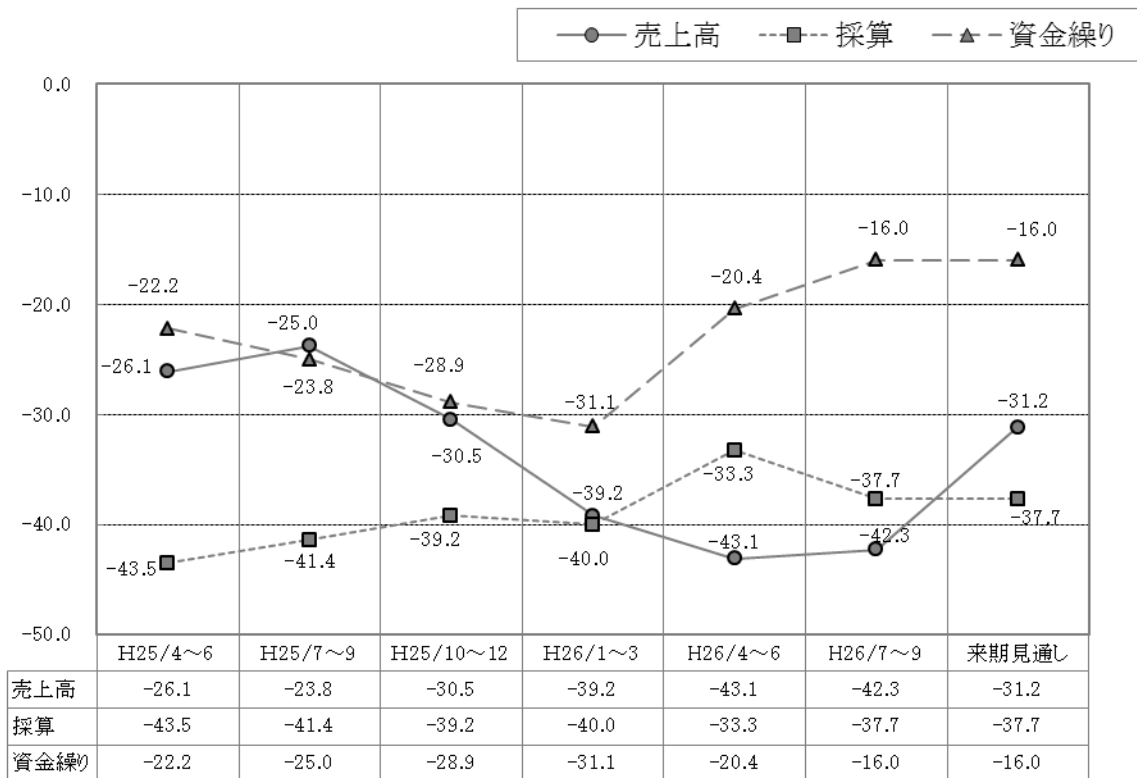
	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

千葉県商工会地区における小売業の景況は、駆け込み需要の反動は和らいだものの、売上高 DI 値は-42.3、前期（-43.1）比で 0.8 ポイントマイナス幅が減少するにとどまった。前期の見通し値（-25.0）に比べ回復に遅れがある。天候不順と実質所得の低下による買い控えが影響している。また、計画的に販売できなかったことから前期で改善した在庫は増加、仕入単価も上昇したことから採算 DI 値も悪化している。また、今後については、天候不順によるマイナス影響が薄れるため、売上高については改善する見通し。

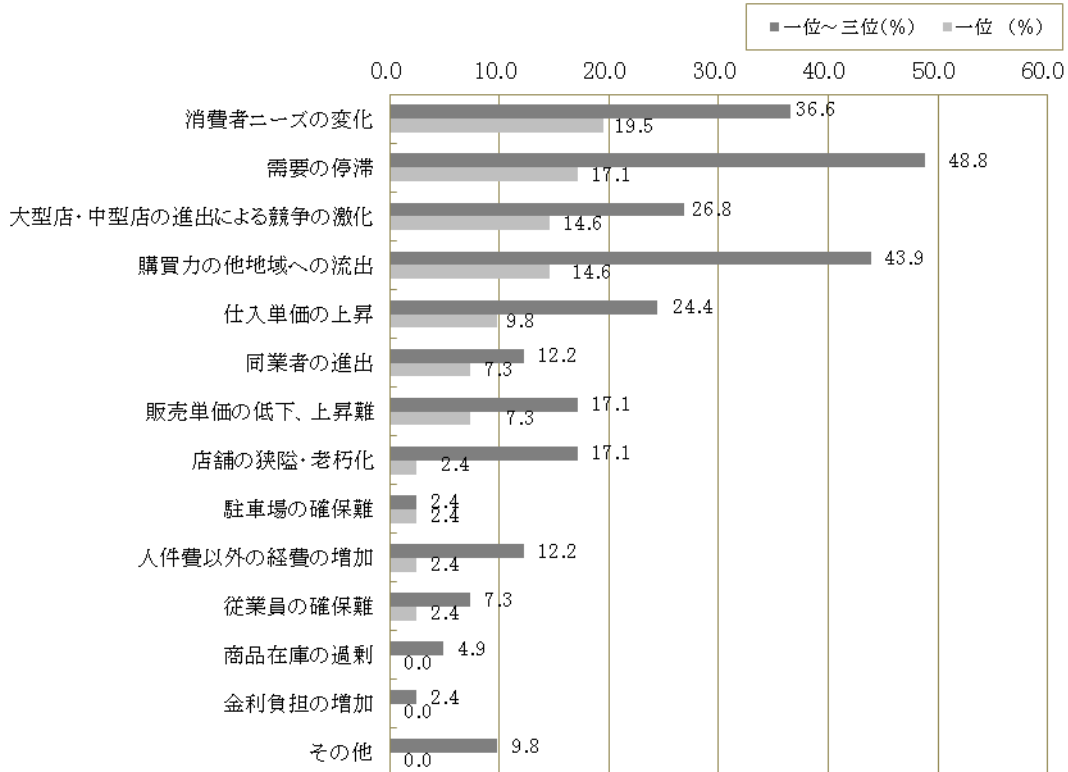
また、消費マインドの冷え込みから、需要の停滞や消費者ニーズの変化を経営上の問題点としてあげる企業が増加している。品揃えによる差別化や販路開拓により新規顧客を獲得したいとのコメントが散見される。

新規設備投資については、6社が実施。店舗、販売設備、車両・運搬具、付帯施設の順で導入実績があり、前期に続き増加している。なお、来期計画は8社で、車両・運搬具、販売設備、OA機器、店舗、福利厚生施設等の導入を予定している。

[図Ⅱ-5]小売業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI-
















[図Ⅱ-6]小売業 経営上の問題点の状況



4. サービス業の景況

“低コスト体質と差別化が課題”

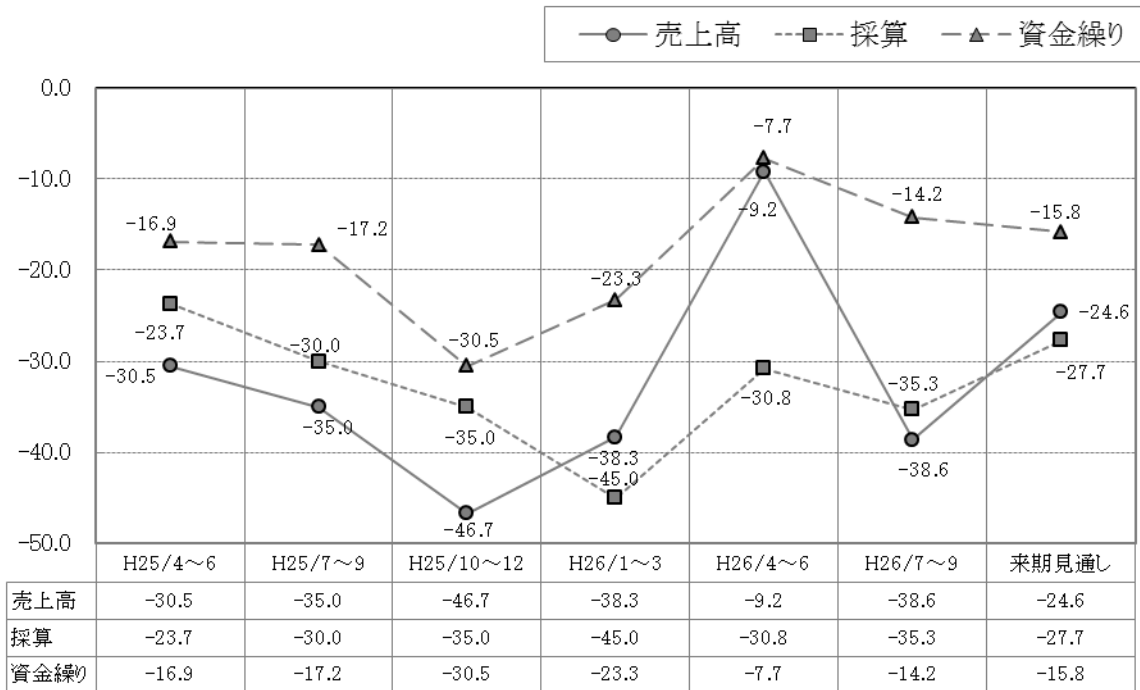
	今期の景況	来期の見通し	
			 :DI 値 +30～
売上高			 :DI 値 +10～+30
採算			 :DI 値 +10～-10
資金繰り			 :DI 値 -10～-30
総合			 :DI 値 -30～

千葉県商工会地区におけるサービス業の景況は、前期改善していた客単価、利用客数が減少、全ての項目でDI値は悪化している。小売業同様、天候不順および実質所得の低下の影響が大きい。

来期の見通しについては、天候不順によるマイナスの影響が薄れるため、売上高DI値、採算DI値については改善を予測している。材料等仕入単価の上昇、利用者ニーズの変化への対応に加え、従業員の確保難を経営上の問題点する企業が増えている。サービス見直しによる競争優位性の構築だけでなく、ローコストオペレーションの確立も併せて実施していく必要がある。

新規設備投資については、4社が実施しており、付帯施設、サービス、車両・運搬具、OA機器等を導入している。また、来期計画も4社あり、サービス、車両・運搬具、建物、OA機器等の導入を予定している。

[図Ⅱ-7] サービス業主要景況項目の推移 ー前年同期比DIー



[図Ⅱ-8] サービス業 経営上の問題点の状況

